

作 齋藤 憐 演出 丹野 郁弓

# グレイ クリスマス *Gray Christmas*

戦後のクリスマスを舞台に、激動の5年間を描いた齋藤憐の傑作戯曲。憲法が揺らぐ今、戦後日本の原点を描く作品がわたしたちに問いかけるものは――

## ものがたり

敗戦の年のクリスマス。進駐軍の将校クラブに母屋を接収され、離れに追いやられた五條伯爵家。天皇は人間になり、華族制度は廃止。路頭に迷って自殺を図る生活力のない当主の五條(千葉茂則)、戦犯裁判にかけられる弟(天津民生)、ヒロポン中毒の息子(横山陽介)らの中で女たちはたくましく、後妻の華子(中地美佐子)と弟の妻・慶子(吉田陽子)は、将校クラブのホステスを引きうけた。不穏な動きを見せる闇屋の権堂(岡本健一・客演)や、日系二世の軍人ジョージ・イトウ(塩田泰久)が入り出す離れでは、にぎやかな宴が始まっている。ジョージの説くデモクラシーの理想に胸をときめかし、愛をふくらませてゆく華子。娘・雅子(神保有輝美)は、なぜか権堂に魅かれてゆく。やがてアメリカの占領政策がかわり、朝鮮戦争がはじまる。特需景気で旧勢力が息をふきかえし、五條の弟は政界に復帰、息子は警察予備隊に。そして翌年、戦死したジョージから、思い出のオルゴールが華子のもとに届くのだった……。



神保有輝美



野田香保里



飯野 遠



中地美佐子



吉田陽子



船坂博子



天津民生



吉岡扶敏



みやざこ夏穂



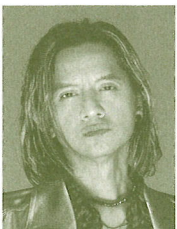
山梨光國



境 賢一



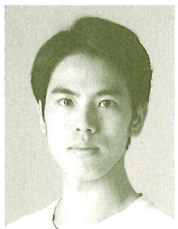
千葉茂則



岡本健一  
(客演)



慎 将吾



横山陽介



平野 尚



塩田泰久



神 敏将

### 2025年 3・4月例会

作：三遊亭圓朝  
脚色：平田兼三  
演出進行：小野文隆

前進座

人情噺 **文七元結**

4月1日(火)6:30 玉島  
3日(木)6:30 倉敷  
4日(金)1:00



### 2025年 5・6月例会

原作：三浦綾子  
脚色：杉浦久幸  
演出：鶴山 仁

劇団文化座

**母**

5:00  
6月7日(土)6:30 玉島  
9日(月)6:30 倉敷  
10日(火)1:00

